

平成19年度から

畑かん一部通水始まる

平成19年度から曾於南部畑かん事業実施区域の一部で本格通水が始まります。今回通水する面積は、全体で585ヘクタール、大崎町では195ヘクタールの予定です。



輝北ダム (平成 18 年 7 月 撮影)

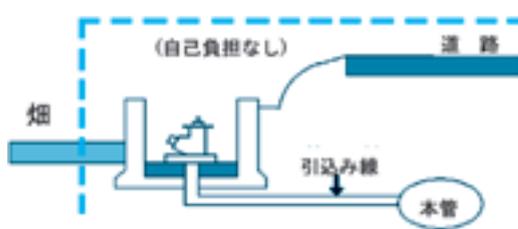
水利権を持つ畑にするために

現在、県営事業で支線水路の管敷設とあわせて、給水栓の設置が本格的に始まっています。この事業のなかで給水栓を設置されると給水栓までの設置工事費については自己負担は発生しません。

詳しくは、大崎町役場耕地課まで
TEL 476-1111 (内線253)

いよいよ水を使った収益性の高い農業への移行が現実のものとなることから、今後、水を利用した農業への転換により、一層拍車がかかるものと期待されます。

給水栓設置工事 概略図



給水栓を設置したほ場については、事業完了後8年間は宅地等への転用はできないこととなっておりますので、注意が必要です。

農村振興総合整備事業本格着工 水田ほ場整備が2地区スタート



グリーンロードから望む岡別府地区ほ場

全体事業費20億円事業スタート

平成19年度から水田ほ場整備が2地区(長田地区・岡別府地区)と農村振興総合整備事業が本格的に始まります。いずれも県営事業で事業期間は平成23年度までとなっています。

全体事業費が合わせて20数億円に上る大型プロジェクトですが、大崎町の今後における農業基盤整備の中核となるものです。

今後とも、農業基盤をはじめとする農業農村整備を進めてまいりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



長田地区ほ場現地評価

○水田ほ場整備

- ・長田地区(田原川左岸の大隅中央道路 通称『グリーンロード』から飯隈橋までの間) 約40ヘクタール
- ・岡別府地区(持留川流域の両岸 持留橋から岡別府橋までの間) 約17ヘクタール

○農村振興総合整備事業

町内の農道・農業用排水路・集落道・集落排水路等を中心に全部で43路線を平成23年度までの間に順次整備してまいります。